

タンゴとサッカーの国 アルゼンチン

11月29日（火）高岡小学校で、国際理解出前講座を実施し、4年生83名が参加しました。講師は、アルゼンチン出身の大谷アリシアさんです。ご両親が日本からアルゼンチンに移住したとき、アリシアさんは1歳でした。

はじめに、「アルゼンチンを知っている人？」とアリシアさんが問いかけると、ちょうどサッカーのワールドカップが開催されていることもあり、たくさんの手が挙がりました。



アルゼンチンは南米にあり、世界で8番目に大きな国です。ヨーロッパからの移民が多く、「南米のパリ」と呼ばれるほどヨーロッパ風の建築物が多く見られるそうです。公用語であるスペイン語でのあいさつや、食べ物、観光地なども紹介されました。

アリシアさんが手に持っているのは、伝統音楽フォルクローレに欠かせない弦楽器チャランゴ。胴の部分には、アルマジロの皮が使われています。現在ワシントン条約の保護対象となっているため、なかなか手に入らない貴重な品です。

講座終わりには「どんな動物がいますか？」「魚は食べますか？」など、質問が多く出ました。残念ながら時間の都合ですべてには答えられませんでしたが、これを機にアルゼンチンや他の国に興味を持って、自分で調べたり家族や友達と話したりしてもらえたなら嬉しいです。